

子ども 子供と一緒に学 いっしょ まな びましょ う 31

おこ 怒つている人に

お釈迦さまが王舍城の近く、竹林精舎というところにいたときのこと。そこに、バラモン教の僧侶の男がやつてきました。どうやら、その男の家族が、バラモン教を捨てて、仏教の僧侶になつたことに腹をたててているようです。

その男がお釈迦さまの前に進み、顔をまつ赤にして怒り、ひどい言葉をたくさんいました。しばらく、お釈迦さまはその怒りの言葉を聞いていました。やがてその男が少し静まつたとき、

「あなたの家に、お客様がくることがありますか？」

と、お釈迦さまはおかしな質問をしました。

するとその男はふしぎそうな顔をして、

「もちろんだ！」と答えました。

さらにお釈迦さまは質問します。

「そのとき、客に食事を出すことはありますか？」

「もちろんだ！」

「では、客が何も食べずに帰ったとしたら、その食べ物はどうするのですか？」

「食べてもらえなければしかたがない。それは私が後で食た



べるだろう

「今あなたは、私の前にいろいろな悪い言葉をならべました。しかし、私はそれを頂きません。だから、それはもう一度あなたのものになります。」

さらにお釈迦さまは、

「もし私があなたにののしられ、ののしり返したとしたら、それはあなたと一緒に食事をすることと同じです。わたしはあなたからのご馳走はいただかないよ」

そんな事をいわれた男はさらにふしげそうな顔をしていました。

「あなたは怒るということがないのですか？」

その質問に対してもお釈迦さまは、

「怒っている人に、怒り返すのは悪いことです。反対に怒つている人に、怒り返さないものは二つの勝利が与えられます。他人が怒つているのを知つて、正しく自らを

しずめる者は、自分に勝ち、また他人にも勝るのです」

この対話の後、この男はお釈迦さまの魅力と教えに導かれ、弟子となり、尊い聖者になりました。

おしまい

